



ユニチカ株式会社

2025年3月期 決算説明会

2025年5月27日

- 1 2025年3月期 決算概要**
- 2 各事業セグメントの状況**
- 3 2026年3月期 業績予想**
- 4 事業再生計画について**

2025年 3月期 実績

- 〉 食品包装用途、生活資材用途などで販売が回復。各製品で価格改定を実施し、売上高は1,264億円（前期比+81億円）となった。不採算販売の見直し等による価格改定の効果と、経費削減などのコストダウン施策の実施により、営業利益は59億円（前期比+83億円）となった。
- 〉 金利上昇による支払利息の増加と、円高の進行により外貨建て資産の評価損を計上した結果、経常利益は47億円（前期比+57億円）となった。
- 〉 2024年11月28日に公表した事業再生計画に従い、当社及び当社グループが保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、減損損失379億円を始めとした事業構造改善費用393億円を計上。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は▲243億円となった。

2026年 3月期 業績予想

- 〉 2026年3月期の業績予想について、現時点においては、構造改革対象事業における事業譲渡等の実行が確定していないことなどから、合理的な業績予想の算定ができないため、連結業績見通しは未定

売上高

1,264億円 (前期 1,183億円 / 前期比 +81億円)

食品包装用途、生活資材用途を中心に販売数量増と、各製品の価格改定の効果により、前期比6.8%の増収。

営業利益

59億円 (前期 ▲25億円 / 前期比 +83億円)

不採算販売の見直し等による価格改定の実施とコストダウン施策の実行、および販売数量増の効果により、前期の赤字から黒字に転換。

経常利益

47億円 (前期 ▲10億円 / 前期比 +57億円)

円高の進行により、外貨建て資産の評価損2億円を計上。金利上昇により支払利息が増加。2024年3月末為替レート：1ドル=151円に対し、2025年3月末：1ドル=150円

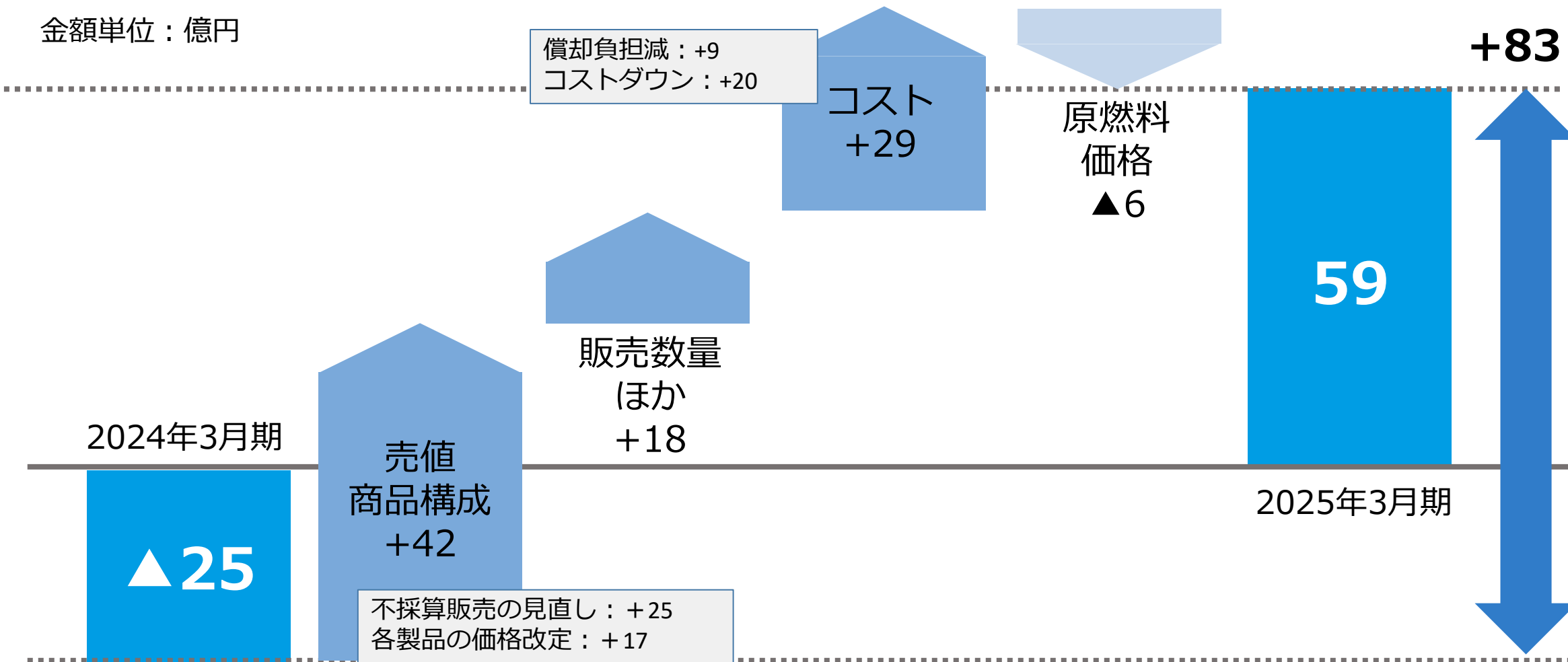
親会社株主に
帰属する
当期純利益**▲243億円** (前期 ▲54億円 / 前期比 ▲188億円)

先般公表した事業再生計画に基づき、当社及び当社グループの固定資産について将来の回収可能性を判断した結果、379億円の事業構造改善費用（固定資産の減損損失）を計上。

連結合計 (単位：億円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	前々期比	前期比
売上高	1,179	1,183	1,264	+85	+81
売上総利益	238	189	257	+19	+68
営業利益	13	▲25	59	+45	+83
営業利益率	(1.1%)	(▲2.1%)	(4.6%)	—	—
経常利益	11	▲10	47	+36	+57
特別利益	7	0	2	▲5	+2
特別損失	10	46	397	+386	+351
親会社株主に帰属する 当期純利益	1	▲54	▲243	▲244	▲188
減価償却費*	47	55	46	▲1	▲9
設備投資*	76	68	27	▲49	▲41

* 減価償却費、設備投資額は無形固定資産分を含まない

金額単位：億円



(金額単位：億円)	2024年 3月末	2025年 3月末	前期末比 増減
資産合計	1,863	1,494	▲369
流動資産	728	753	+25
固定資産	1,136	742	▲394
負債合計	1,481	1,332	▲149
純資産合計	382	162	▲220
株主資本	333	123	▲210
その他の 包括利益累計額	35	33	▲2
非支配株主持分	15	7	▲8

(金額単位： 億円)	2024年 3月期実績	2025年 3月期実績	前期比 増減
営業活動CF	82	63	▲19
投資活動CF	▲75	▲31	+44
財務活動CF	▲3	▲4	▲2

(金額単位： 億円)	2024年 3月末	2025年 3月末	増減
現金・現金 同等物残高	102	131	+29

営業C F：仕入債務の増減 前期比▲44億円
 棚卸資産の増減 前期比▲35億円 他
 投資C F：前期比 設備投資28億円減少

セグメント別 (金額単位：億円)	2024年3月期	2025年3月期	前期比増減	
			金額	率
売上高	1,183	1,264	+81	+6.8%
高分子事業	511	554	+43	+8.5%
機能資材事業	342	370	+28	+8.3%
繊維事業	330	339	+9	+2.8%
その他	1	1	+0	+4.2%
営業利益	▲25	59	+83	-
高分子事業	6	60	+54	10.0倍
機能資材事業	▲25	3	+28	-
繊維事業	▲5	▲4	+2	-
その他	▲1	▲1	▲0	-

金額単位：億円	2024年 3月期	2025年 3月期	増減
売上高	511	554	+43
フィルム	335	344	+9
樹脂	134	138	+4
他	42	72	+30
営業利益	6	60	+54

フィルム事業

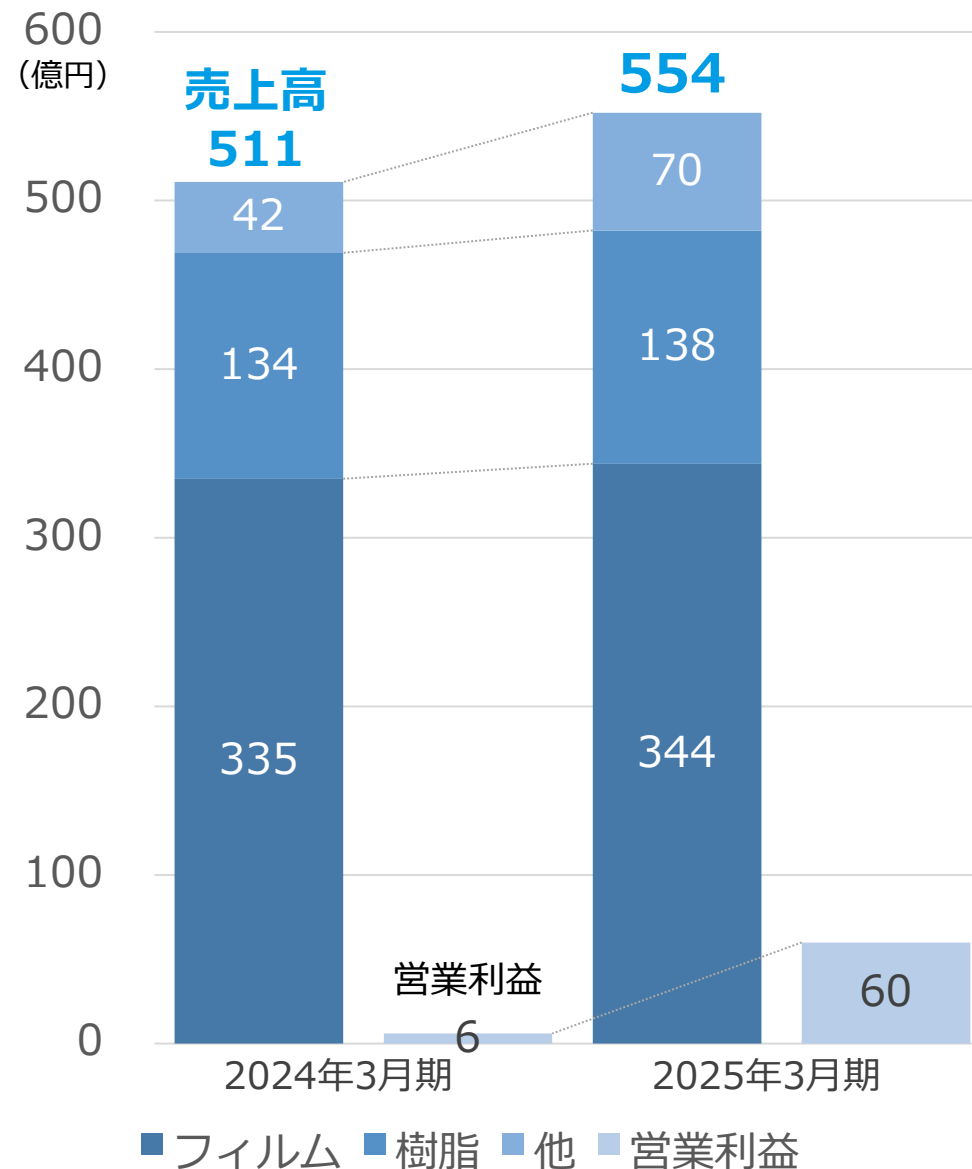
包装用フィルムは市況の回復により販売が回復。工業用フィルムは一部の半導体関連用途以外は伸びず。海外においては不採算販売の見直しにより販売数量は減少。海外安価品との価格競争が継続。

樹脂事業

エンプラは自動車部品用途、電気電子部品用途の販売が低調。機能樹脂は接着剤・コーティング用途において高機能製品の販売が伸長。

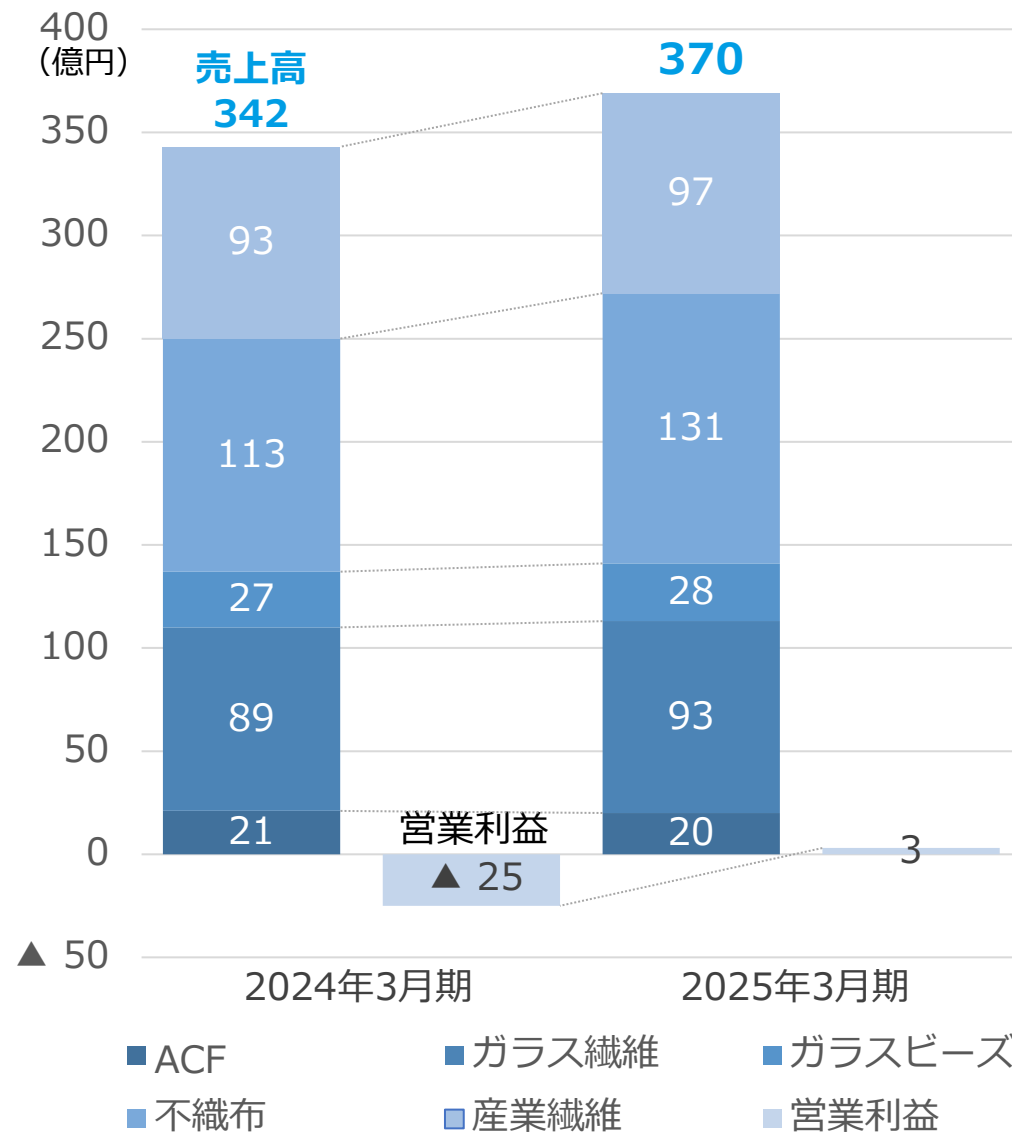
セグメント営業利益

原燃料価格が高止まりする中、販売増を背景に工場の稼働率が好転。また、コストダウン施策の効果が発現。不採算販売の見直しと価格改定の実施により収益が改善した。



金額単位：億円

	2024年 3月期	2025年 3月期	増減
売上高	342	370	+28
活性炭繊維 (ACF)	21	20	▲0
ガラス繊維	89	93	+5
ガラスビーズ	27	28	+1
不織布	113	131	+19
産業繊維	93	97	+4
営業利益	▲25	3	+28



活性炭繊維 (ACF) 事業

主力の浄水用途の販売は堅調であったが、空気浄化用途のVOC除去用シートの販売が低調で、売上高はやや減少。

ガラス繊維事業

産業資材分野は不燃テント・シートを始めとした建築資材用途の販売が好調。電子材料分野は、生成AI関連以外の汎用半導体の市況が本格的な回復に至らない中、携帯端末用ハイエンドメモリ向けを中心に、高性能ガラスクロスの販売が伸長。

ガラスビーズ事業

道路用途は工事件数減少が続く中、販売シェアを拡大。工業用途では高精度ガラスビーズなどの高性能製品の販売が伸長。

不織布事業

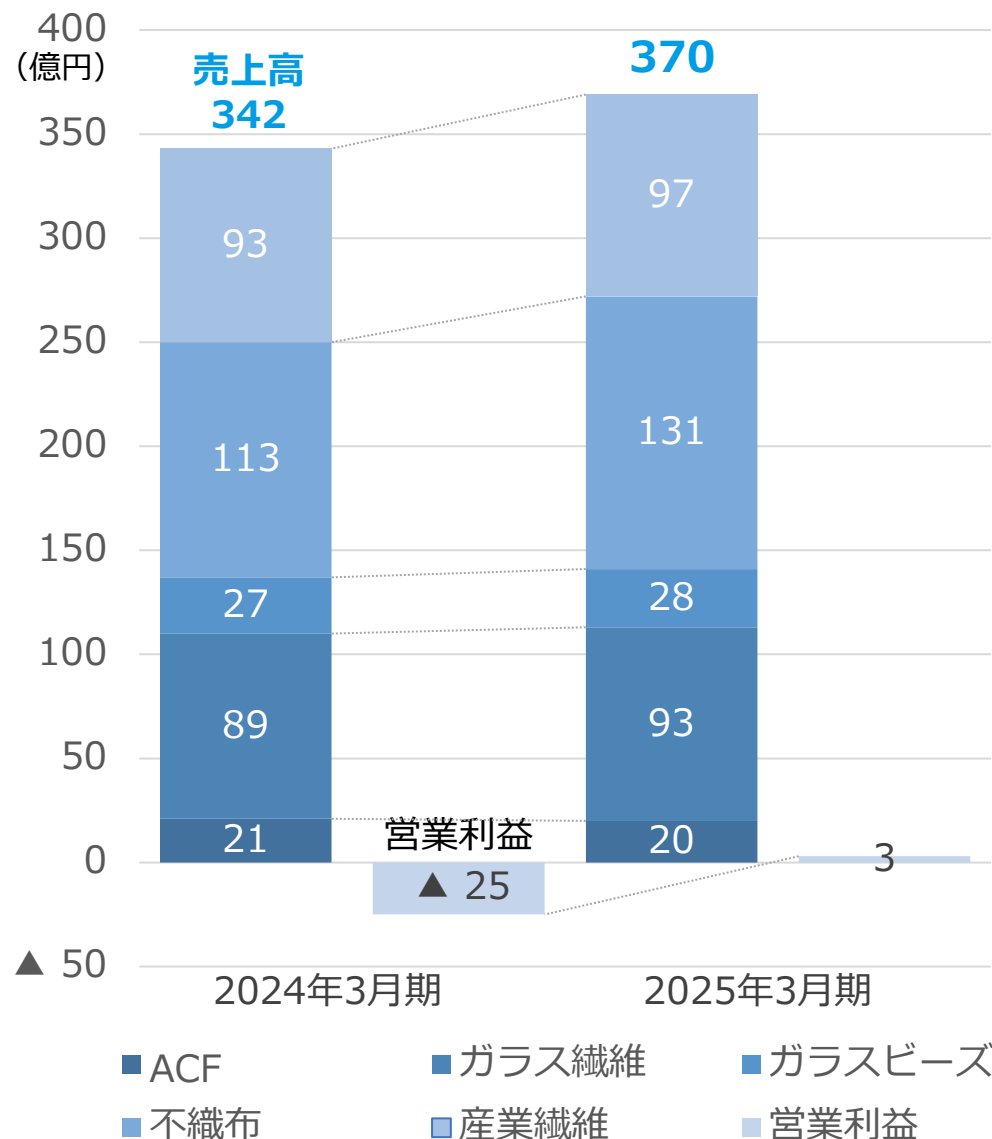
ポリエステル系спанボンド、コットンспанレースとも、フィルターやスキンケア用品向けなどの生活資材用途を中心に販売量が回復。

産業繊維事業

ポリエステル高強力糸の販売が減少。ポリエステル短繊維の販売は堅調であったが、期後半に販売が減少。

セグメント営業利益

各事業において価格改定を実施し、収益が改善。ガラス繊維、不織布において販売が回復した効果と、コストダウンの効果により、セグメント全体で営業赤字から黒字に転換。



金額単位：億円		2024年 3月期	2025年 3月期	増減
売上高		330	339	+9
	衣料繊維・他	330	339	+9
営業利益		▲5	▲4	+2

衣料繊維事業

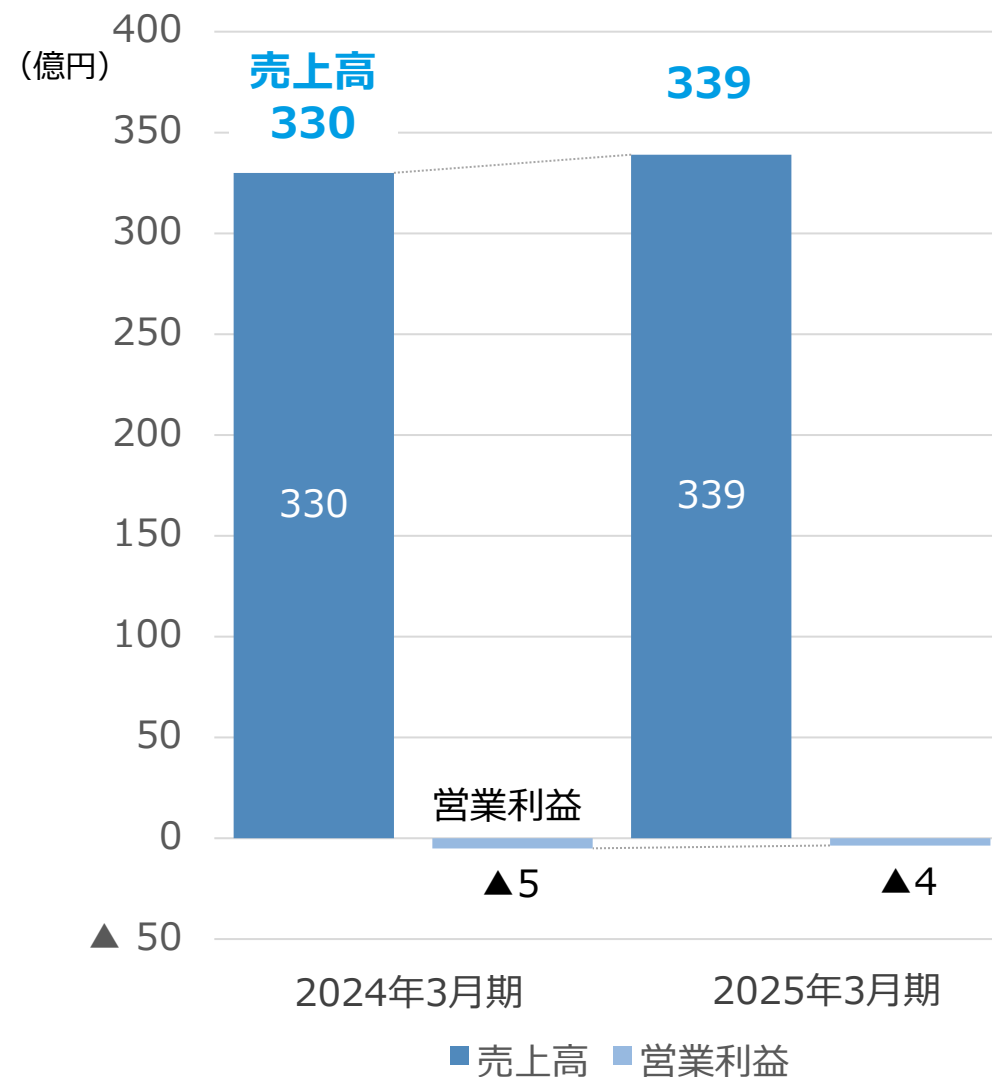
ユニフォームの販売は官需、民需とも堅調。一般衣料、寝装、スポーツ衣料分野は期間を通じて需要が低迷。

産業資材事業・グローバル事業

産業資材事業は生活関連用品が堅調に推移。グローバル事業はデニム生地 of 輸出販売が回復した。

セグメント営業利益

主力のユニフォーム販売を始めとした各製品の増販、価格改定とコストダウン施策により増収、赤字縮小。



(金額単位：億円)	2025年 3月期実績	2026年 3月期予想	前期比 増減
売上高	1,264	未定	—
営業利益	59	未定	—
経常利益	47	未定	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲243	未定	—

現時点においては、構造改革対象事業における事業譲渡等の実行が確定していないことなどから、合理的な業績予想の算定ができないため、**連結業績見通しは未定**

2025年4月30日に以下を実行し、(株)地域経済活性化支援機構（以下『機構』と略称）による再生支援が開始

- ・ A種種類株式、B種種類株式の無償取得、消却
- ・ C種種類株式の発行、機構へ全数割当、増資の払込み（約200億円）
- ・ 資本金、資本準備金の減少（資本金：1億円）
- ・ 筆頭株主の異動（機構が議決権の66.76%を保有）
- ・ 社内取締役4名、社内監査役2名の退任
- ・ 新たに取締役7名、監査役1名の就任 機構からの人員派遣を受け入れ
- ・ 代表取締役社長の交代（藤井 実）

お取引金融機関から、最大430億円の債権放棄等の金融支援について、同意をいただいた

C種種類株式の概要

発行株式数	115,504,600株
調達資金額	20,000,776,536円
議決権	あり（総議決権の66.76%）
割当先	機構

施策	施策内容	現状
<p>1. 構造改革による不採算事業の撤退及び供給能力の適正化</p>	<p>衣料繊維事業、不織布事業、産業繊維事業（一部を除く）から撤退し、2025年8月までの合意を目標に、事業譲渡、生産移管の取組みを進める 合意が得られなかった場合は清算に向けたアクションへ移行</p>	<p>各事業において、譲渡先候補との協議中 ※ユニチカテキスタイル(株)常盤工場は、2025年9月を目途に操業停止予定</p>
<p>2. コスト削減の完遂によるローコスト運営体制の確立</p>	<p>エンブレムアジアにおける4号機の廃止</p>	<p>4号機の廃止は実行済。工場、設備の売却に向けた取組みを実施中</p>
	<p>ポリエステルチップの外部調達への切替え</p>	<p>代替めどが見ついた製品から順次サンプルを提供し、ユーザーにて評価を実施中</p>
	<p>配送ルートの見直し、発送ルールの変更、物流会社や倉庫会社との契約条件の見直し等による物流費の削減</p>	<p>即時実行可能な施策から順次着手</p>
	<p>その他業務の見直しや人件費の削減、効率改善によるオペレーションコスト等の削減</p>	<p>事業譲渡等の進捗と並行して本社機能の効率改善策を計画中</p>

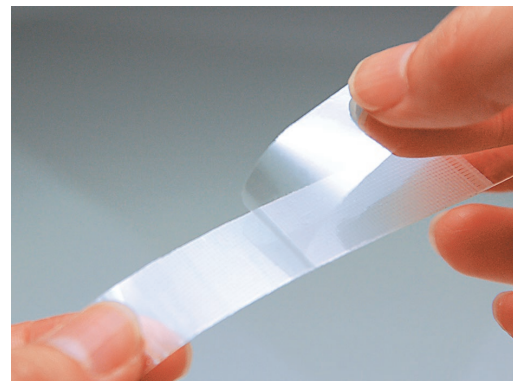
3. 付加価値の高い製品の販売拡大



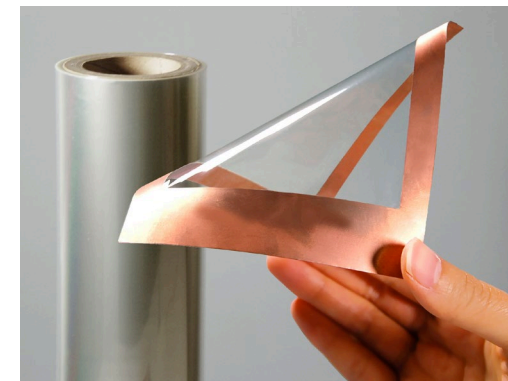
ボイル・レトルト処理可能な、新しいタイプのハイバリアナイロンフィルム「エンブレムHG」



直線カット性により、包材の開封性向上を追求した ナイロンフィルム「エンブレムNC」 ポリエステルフィルム「エンブレットPC」



シリコンフリー離型フィルム「ユニピール」

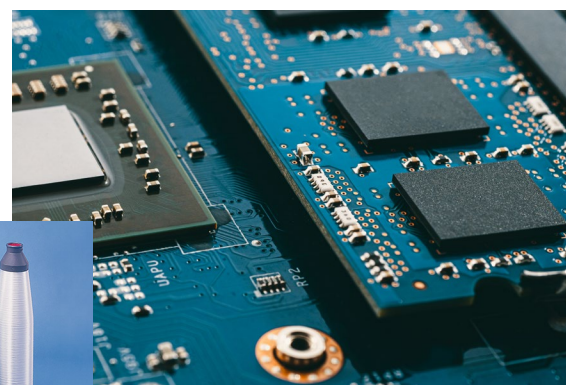


高耐熱ポリアミドフィルム「ユニアミド」



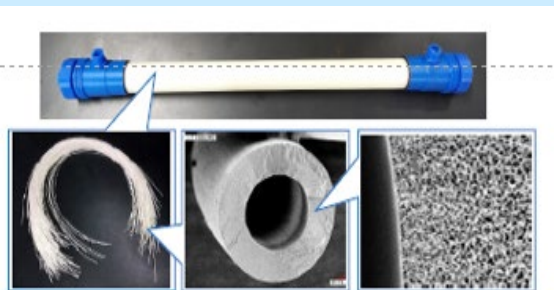
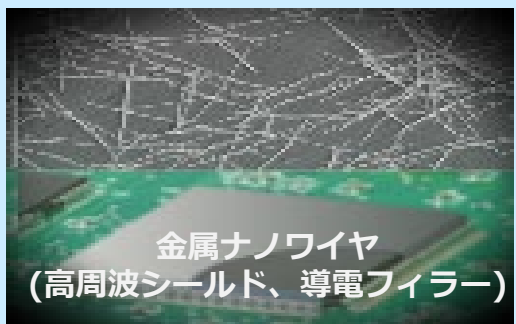
ガラスクロスを使用した透明不燃シート

ガラスヤーン



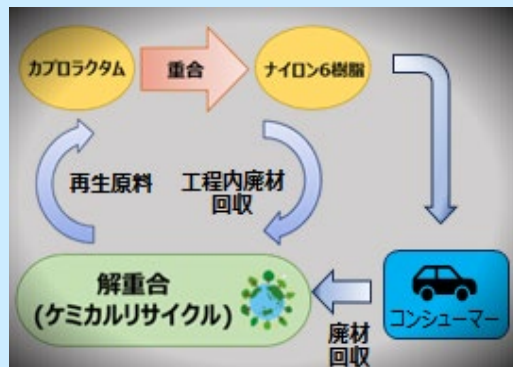
プリント配線板用絶縁材

通信エレクトロニクス 半導体加工

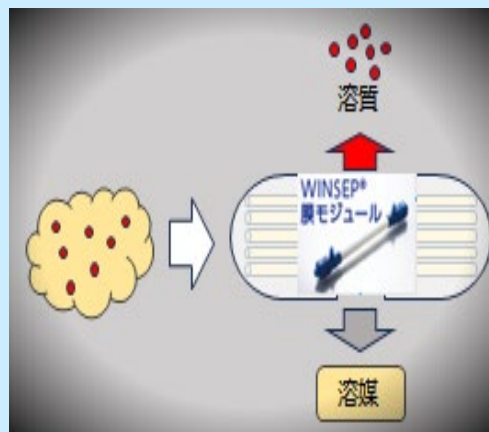


耐溶剤性中空糸レジスト精密ろ過膜

省資源・環境対応



ケミカルリサイクルナイロン

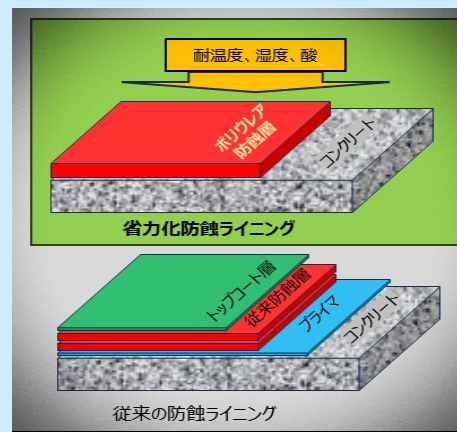


中空糸MF/UF/NF
耐溶剤性分離膜モジュール
(蒸留代替、ケミカル精製など)

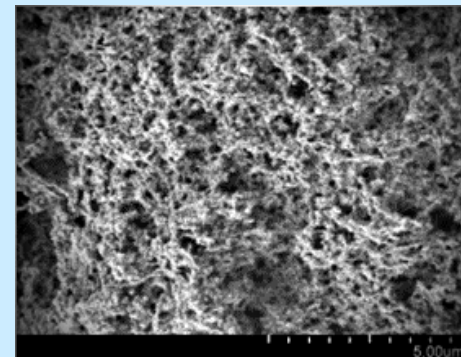
土木・インフラ・建築



ポリウレア樹脂
〔コンクリート防蝕(手塗可能)
各種表面保護塗料〕

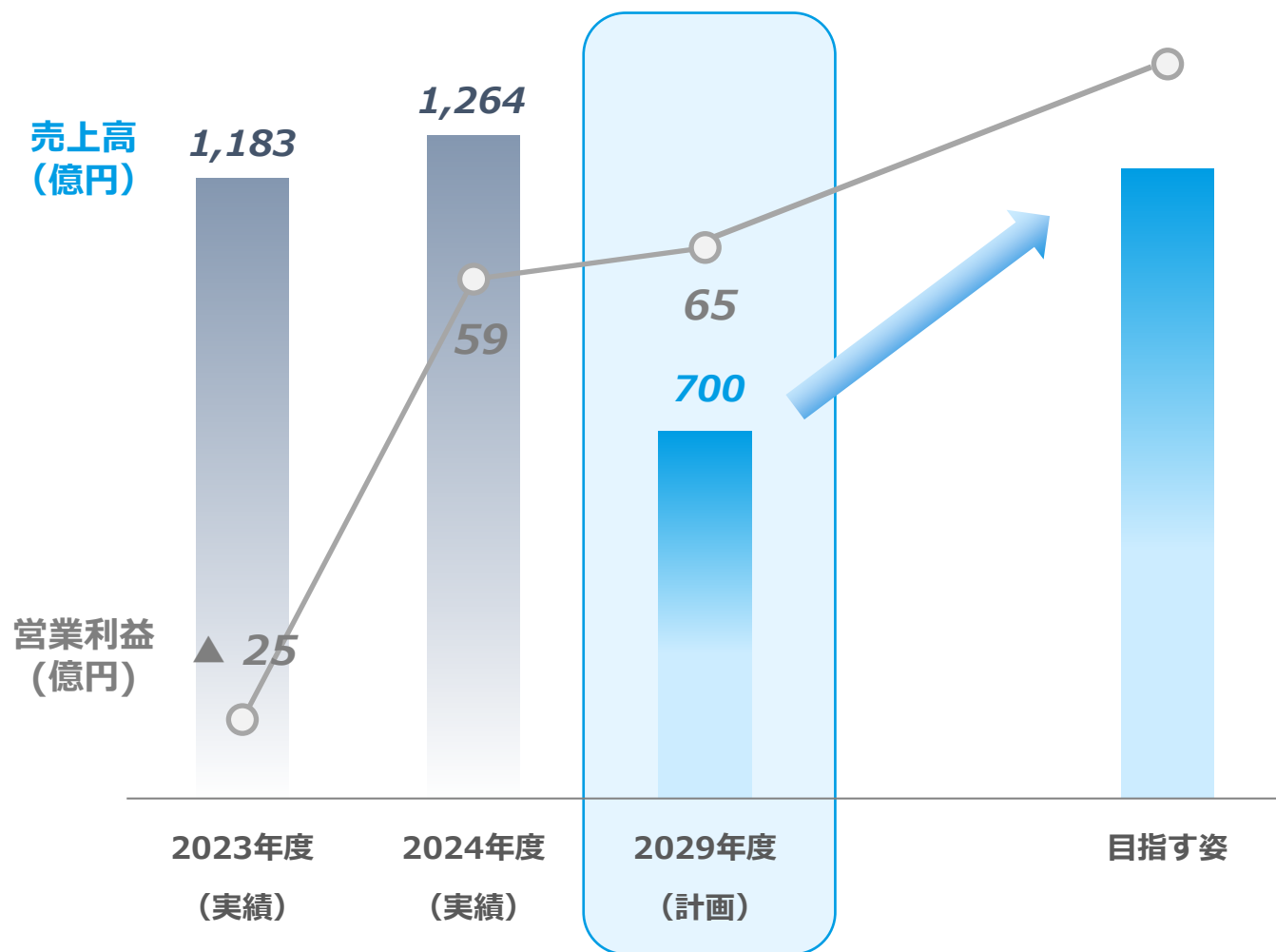


新エネルギー

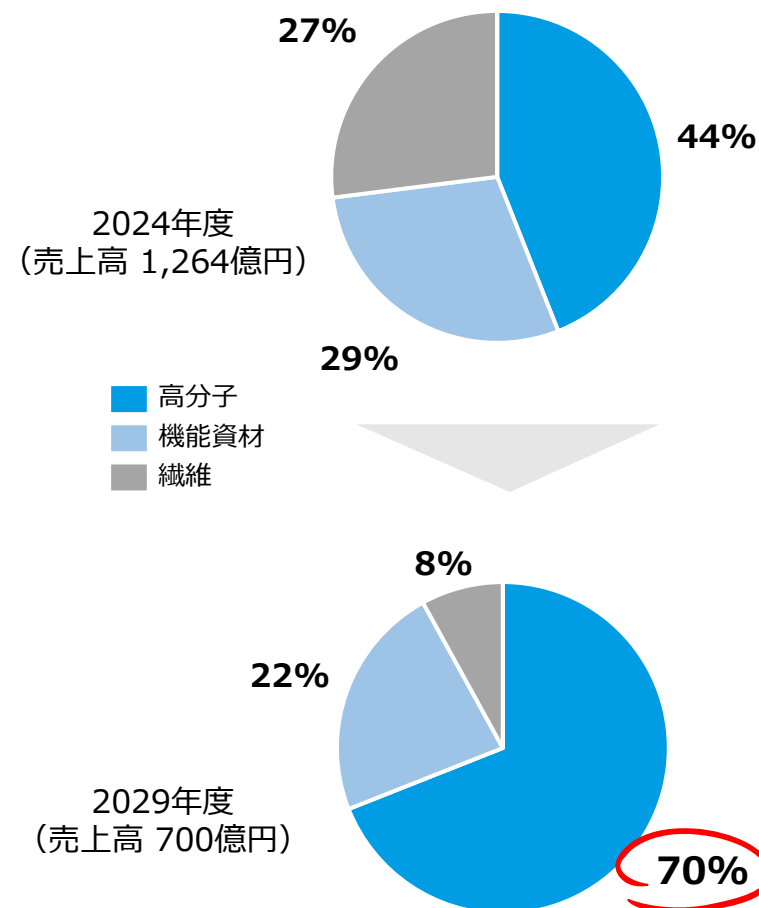


〔ハイレントロピー合金 (HEA)
水素製造、燃料電池用など
高性能触媒〕

- 高分子などの将来性のある事業を中心とする事業ポートフォリオへと変革し、2029年度に営業利益65億円を目指す



構造改革によるポートフォリオの変化



ご注意

**本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、
本資料作成時点において
入手可能な情報に基づいて作成したものであり、
実際の業績等は、今後の種々の要因によって、
本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。**

		2022年	2022年	2022年	2022年	2023年	2023年	2023年	2023年	2024年	2024年	2024年	2024年
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
(金額単位：億円)													
売上高		296	295	291	298	279	301	285	318	307	309	320	329
	高分子	127	125	124	124	127	133	125	126	141	140	141	132
	機能資材	89	88	84	82	79	86	85	92	93	91	92	95
	繊維	80	81	82	92	73	82	75	101	72	78	87	102
	その他、連結調整	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業利益		10	5	3	▲4	▲7	▲11	▲8	1	12	11	21	16
	高分子	13	10	9	1	2	▲1	1	4	15	13	18	15
	機能資材	1	▲0	▲2	▲5	▲7	▲8	▲6	▲4	▲0	2	3	▲1
	繊維	▲5	▲4	▲4	▲0	▲2	▲3	▲3	2	▲2	▲3	0	2
	その他、連結調整	▲0	▲0	▲0	▲0	0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0

(金額単位：億円)

	2022年 1Q	2022年 2Q	2022年 3Q	2022年 4Q	2023年 1Q	2023年 2Q	2023年 3Q	2023年 4Q	2024年 1Q	2024年 2Q	2024年 3Q	2024年 4Q
高分子	127	125	124	124	127	133	125	125	141	140	141	132
フィルム	86	85	79	84	85	84	82	85	90	88	82	84
樹脂	31	32	31	32	32	32	35	35	34	34	35	35
その他	10	8	15	8	11	17	8	5	17	18	24	13
機能資材	89	88	84	82	79	86	85	92	93	91	92	95
ACF	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6
ガラス繊維	24	22	19	18	20	23	23	24	24	24	23	22
ガラスビーズ	7	7	7	6	6	6	7	8	8	6	7	7
不織布	30	31	29	29	26	28	28	31	30	32	35	34
産業繊維	23	23	24	24	23	23	22	24	26	23	23	25
繊維	80	81	82	92	73	82	75	101	72	78	87	102